



【朝の体操はじまるよー】

—身体を動かす喜びを感じよう!神様からいただいた異なる賜物を活かしあおう!—

2 学期から朝の体操が始まりました。9 時に「朝のテーマ」と呼ばれる音楽がかかり、それを合図にクラスカラーコーンの前に 2 列に並んでいきます。

実は、昨年度までは「クラス旗」でしたが、今年からは各クラスカラーの「コーン」の前に並ぶことにしました。気候変動の中、連日35度を超える気温で旗を支える鉄製の台が熱され、ヤケドしそうな高温になってしまったのです。クラス旗を運ぶ係の年長さんがヤケドをしては大変なので、今年はコーンに変更。思わぬところに気候変動の影響がありました。コーンは思いのほかかわいいのですが気候は今後が心配です。

さて、コーンになっても子ども達は 2 列に並びます。1 列は年長児と年少児、もう 1 列は年中児が並びます。最初は「並ぶ」ということもわからなかった年少さんですが、年長さんが間に年少さんを挟んで並び、順番や間隔の開け方を「ここだよ」と自然に教えています。普段からの関わりの力ですね!

今年度も猛暑のため、6 月から午後などは園庭に出ることが難しい日が続きました。それでも 1 学期に比べ、身体もしっかりと動くようになってきたからか、朝の涼しいうちに自然に「ドロケイ」や「鬼ごっこ」など身体を使った遊びに参加する子どもが増えてきました。

またドッチボールは暑くて園庭に出られない午後に遊戯室で楽しむ姿がよく見られます。子ども達は「午後ドッチ」と呼んでいます。園庭よりも壁に当たって跳ね返ってくる、その予想外の動きをするボールを取りに行くのが楽しいのか、「午後ドッチ」には年長さんだけではなく年中さん、年少さんも加わり 3 学年…いや、にじ組さんも含めて 4 学年が入り混じ

ってボールを追いかけています。金城ならではの異年齢が入り混じった遊びの風景です。

時にはボールを持った年少さんがそのまま走って逆のコートへ行ってしまうことも…。慌てつつも、年少さんの肩を回して正しい方向に向け「ほら！投げて」と応援する年長さん。

また先日、体操後に年長さんがリレーをしたときは、みんな(とくに先生たち?)が大興奮！遊びの中でも楽しめるようになってきました。年長さんだけではなく(年長さん、かっこいい!)と憧れた年中さん、年少さんも交じって走っています。バトンをもらってもすぐに走り出せない年少さんがいても「走って！すぐ走って！」とアドバイス。

様々な色の帽子がまじりあい、園庭のトラックを走っている姿を見ると遊びや関係性のバトンも繋いでいるんだなあ、と嬉しくなります。

このようにそれぞれの育ちの違いがあっても認め合い、活かしあい育ちあう暮らしを大事にしたい、そしてこのような毎日の延長線上に運動会を迎えたいと思っています。

【みんなが楽しい運動会を大事に！】

特に大きな行事は、その「意味」を子ども達自身が理解して、楽しんで参加できることが大事です。「言われたことを一生懸命する」ことも大事ですが、一人ひとりが「やりたい！」と主体的に参加し「おもしろい！」と楽しんで行事を迎えることを大切にしたいと考えています。

一番大事なのは「子ども達にとって」楽しい運動会ではないでしょうか。そう考えると、競技の数が多すぎると疲れてしまいますし、最近の気候変動、高い気温の中では競技時間や待ち時間が長ければ熱中症の危険が子どもも大人も増してしまいます。以前は途中休憩を挟んで12時過ぎまで行っていましたが、当時から年少さんは後半おなかがすいて泣いたり、疲れて競技に出られなくなったりという姿が多く、課題を感じていました。熱中症の対策も行いながら「あー、楽しかった！」と終われる時間内で実施していきたいと思います。

また日々の遊びの中で楽しい経験が積み重なっていることで当日の環境が普段と違って参加しやすかったり、楽しめるのではないかと考えています。運動会に向けた練習は、当日ちゃんと「何かができる」ためにするのではなく、お客様も多く普段の環境とはかなり違った中でも(大人でもあの大勢のお客様の中ではドキドキします!)、子ども達が余裕をもって充分に楽しめるよう、毎日の遊びの中で何度も経験し、充分面白さを理解して参加してほしいと願い取り組んでいます。

【大きな行事は過程が大事！】

当日もちろん大事ですが大きな行事ほど「過程」が大事です。年少さんは初めての運動会、日頃と違う環境の中でも充分楽しめるように、年中さんは思いっきり身体を動かす喜び

を感じられるように、年長さんは最後の運動会、仲間と力を合わせ競技に取り組むだけでなく、最年長児として運動会の運営にも関わられるようにと願っていますから様々な役割を担ってくれます。ゴールのテープを担当してくれたり、道具を出してくれたり、年下のお友だちの競技のお世話をしてくれたり…と大活躍の予定です。どれも急にできるようになるわけではなく当日までの毎日の積み重ねの中で育つものです。日々の遊びや活動との連続性を大事にしていきたいと思っています。

また、当日を迎えるまで子どもによっては「ドキドキする」「うまくできなかつたら…」「恥ずかしい」などの葛藤も生まれます。その葛藤は成長にとってとても大事な事です。成長する、ということは新しい葛藤に出会うということでもあります。

どうぞ、その葛藤と向き合う子ども達の姿、運動会に向かう一人ひとりの過程の姿にも目を留めていただけたらと思います。楽しみにしている、どうもドキドキしているみたい、なにもしゃべらないのだけれど大丈夫？(笑)など、どんな事でもお伝えください。

私達保育者も子ども達一人ひとりの道筋をおうちの方々とわかちあい、共有し、ともに子ども達の育ちを支えていきたいと思っています。

【「できる、できない」ではなく！】

——一人ひとりの成長をみんなで喜び合う運動会に——

行事を楽しみにしていても、一生懸命準備をしていても当日は普段通りに力を出し切れる子ばかりではありません。いつもと違う、たくさんのおうちの方に圧倒されたり緊張や恥ずかしさでドキドキして力を出し切れない子もいることと思います。そのような姿も今現在のお子様の成長の姿と受け止めていただきたいと思います。そして異年齢のクラス編成では子ども達は自分が参加しない競技でも仲良しのお兄さん、お姉さん、あるいは年下のお友達が出場するのでみんなで応援しあう姿があります。おうちの方々にとっても我が子だけではなくクラスや学年を超えて一人ひとりの頑張りを応援し成長の喜びをわかちあえる一日となりますように。

【運動会についてお願い】

今年度も大勢の方が来園します。お互いに安全のためのルールを守ってご参加ください。先日お渡ししたお便りに当日のルールやお願いがたくさん書いてあります。どうぞよく目を通していただきますようお願いいたします。

運動会当日までの「過程」をお伝えすることもニュース、この後は学年ごとのあつまりのねらいと様子です！

児玉 芽 



新しいお友だちが月ごとに増えていくにじぐみさん。少しずつ新しいお友だちの名前を覚え、何をして遊んでいるのか、お互いに興味津々で見つめ、関わろうとする姿もあります。

おもちゃの取り合いも一層激しくなり、「ぼくがつかってたー!」「つかいたい!」と思いを言葉にする前に手が出てしまう事もあります。初めは相手に対して“^{ゲキオコ}激怒ぷんぷん丸”だった子も相手も同じように怒っていたり、泣いていることに気づくと、怒りもだんだん鎮まり、少し時間をおいてから「はい、使っていいよ」と声を掛けてくれることもあります。ケンカするよりも一緒に仲良く遊ぶ心地よさに少しずつ気づき始めているようです。頼もしいのは、ケンカが起きると「だめー!」と仲裁を試みる子もいることです。そのカッコイイ姿を見て次々に「だめー!」と同じように止めたり、おもちゃを取り上げて泣いている子に渡そうとしてくれる子もいます。(その場合第二の争いが勃発することもあります…) 怒ったり、泣いたり、優しくしてもらって嬉しかったり、様々な感情を体験しながら友だちとの関わりを学んでいく真っ最中のにじぐみさんです。

私たち保育者も子どもたちの本当の気持ちはどこにあるのか、どうやってその気持ちを相手に伝えたいのか、子どもたちと一緒に考えながら、より良い関係が気付けるように見守っていきたいと思います。

やっと体を動かすのに心地よい秋の空気になってきました。にじぐみさんは一学期からあつまりの時間の始めに体操をしてきたので、2 学期になって始まった全学年での朝の体操も大喜びです。特にエビカニクスは入園前から知っている子も多くみんなノリノリです。

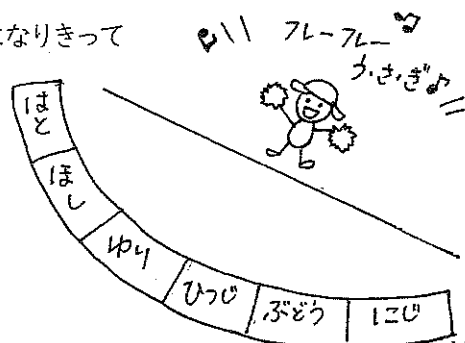
歌が大好きな子は大きな声で歌いながら体操しています。また最近はいなぽー体操もお気に入りです。「うーっ!」の掛け声も気合が入っています。

そして体操の後は、各学年がかけっこやリレー、スペシャルなプログラムを毎日一種目ずつ見せてくれます。おにいさんおねえさんたちの動きに興味津々のにじぐみさんは、クラスで作った応援グッズを手に楽しく応援しています。

応援といえばにじぐみさんは「応援タイム」でピンクのポンポンをもって“どうぶつうんどうかい”という歌に合わせ、動物になりきって幼稚園のみんなを応援します。

可愛いどうぶつさんの姿をどうぞお楽しみに♡

※ 座席に向かい横に広がって応援します♪



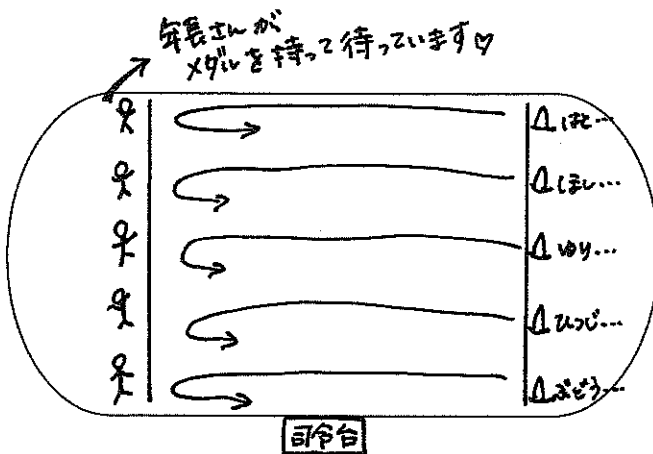
年少あつまり

2学期に入り、朝の体操がはじまりました。4月に入園してから約半年がたち、登園後の身支度もしっかり身についてきた年少さんですが、体操が始まったことで、少し不安を感じている子もいるようです。年長さんがクラス旗のところまで手を引いて、連れて行ってくれています。運動会までの日々、またその後も毎日の経験が少しずつ積み重ねられ、楽しい♪を一つずつ増やして欲しいと思います。

今回は運動会に向けた年少さんの取り組みをお伝えします。

よーいドン!

年少さんも走ることに挑戦します!年長さんが心を込めて作ってくれたメダル目指してよーいドン!



- ①名前を呼ばれたら「はーい!」
- ②よーいドンで、メダル目指して走り出そう
- ③クラスの年長さんからメダルをもらって...
- ④クラスの先生と年少係の年長さんのところまで戻ってぎゅっ♡



メダルは...

年長さんが年少さんのために...と心を込めて作ってくれています。どんなメダルかは運動会当日までのお楽しみ♪当日は『よーいドン!』が終わり、子どもたちが座席まで戻りましたら、お子さんのところにメダルを取りに来てください。(アナウンスが入ります)

追いかけてこのように誰かと一緒に走ることはあっても、並んで一斉に走り出すことはなかなかない経験です。名前を呼ばれてから一斉に走る「よーいドン」は、いつもと違った雰囲気であまり緊張してしまう年少さんもありました。少しでも「走るの楽しい」「ドキドキしたけど嬉しかった」「やってみて良かった」と思えるように、学年別のあつまりや朝の体操後の時間、クラスの時間にも繰り返し経験していきたいです。当日は“いつもの幼稚園”とは雰囲気が違うので、緊張してしまう子もいるかもしれませんが、初めての運動会に、ドキドキワクワクしている年少さんたちをどうか温かく見守ってください!

宝とりゲーム

先日の年少あつまりでは「宝とりゲーム」を行いました。年少さん全員でのルール遊びは初挑戦でしたが、「宝をとるぞ!」と元気いっぱい走る子、応援の声を届ける子など、それぞれの形で参加を楽しみお姿がありました。運動会本番は、子どもたちにとって普段以上に多くの人の前に立つ特別な機会です。緊張や不安を感じることもあると思いますが、大好きなおうちの方や友達と一緒にだからこそ、安心して頑張ることができると思います。遊びを通して育まれた協力する気持ちや応援する心を大切に、運動会当日も元気いっぱい取り組む姿を楽しみにしています。

結果発表がありますが、おうちの方と一緒に身体を動かす楽しさや、友達やおうちの方から応援してもらえる嬉しさを味わえる機会になればと願っています。また、今回の宝取りゲームでルールのある遊びの楽しさを感じて、これからの遊びに繋がっていくといいなと思います。

＊ルール

① 黄・青チーム各3グループに分かれて行います。チーム分け表(次ページ)をご覧ください。

1回戦目: 黄① VS 青①

2回戦目: 黄② VS 青②

3回戦目: 黄③ VS 青③

② 下図の位置に、親子で並んでください。

③ スタートの線に親子で並びます。笛の合図が鳴ったら相手の陣地にある宝(赤玉)を、親子で手を繋いで走って取りに行きます。

④ 取った宝を自分の陣地に置きます。

⑤ また、相手の陣地に宝を取りに行きます。終了の合図まで繰り返します。

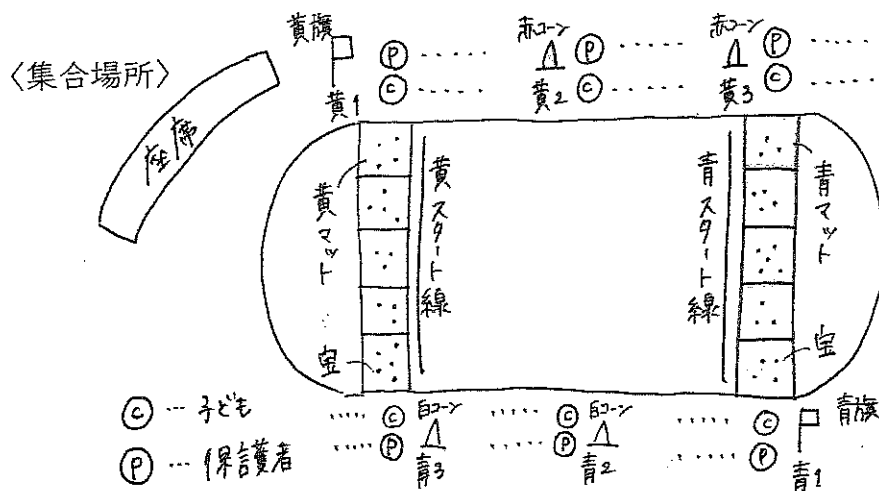
⑥ 終了の笛が鳴ったら、元の位置に戻ります。次のグループと交代します。

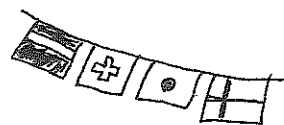
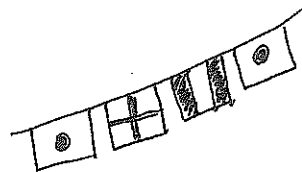
⑦ 3回戦後、それぞれの陣地に残っている宝の数を数えて結果発表!

⑧ 退場します。親子で座席に戻ってください。

☆1度に運べる宝は
1人1つ

☆笛が鳴った時に
手に持っていた宝は、
陣地に置いてOK





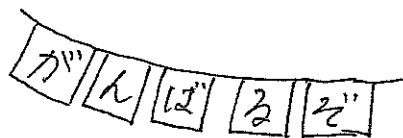
年中あつまり

先日行われたバザーでは、子どもたちが作った野菜スタンプガーラントを遊戯室の前に飾りました。見ていただけたでしょうか? 「どんな風に飾られるのかなあ?」と楽しみにしながらカーラントの仕上げをしていた子ども達でした♪当日は、お買い物もめいっぱい楽しんでいる姿を見ることができ、とても嬉しかったです。

今回は、運動会に向かっていく子ども達の姿、取り組みの様子をお伝えします。

おもいきり走ろう!! かけっこに挑戦!

先日、朝の運動会に向けた準備の時間に、年中さんは【かけっこ】をしました。年中さんのかけっこは、三輪車小屋近くをスタートとし、トラックを半周と少し走り、鉄棒より少し手前がゴールになります。はじめてのかけっこに「速く走るぞ~!!」と意気込んでいる子や「ちゃんと走れるかわからない…」と少しドキドキしている子の姿もありました。「よーい、ピッ!!」の合図で元気よくスタートし、ゴールテープのところまで一生懸命走っていた年中さん。途中ころんではしまった子もいましたが、すぐに立ち上がり最後まで走る姿に成長を感じました。中には、一人でスタートするのは心細い…、やめておこうかな…という子の姿もありましたが、保育者と一緒に手を繋いでスタートすると、途中からは自分一人で走っていく姿も!! まだ朝の時間には走る経験をしていない子もいますが、その子に話を聞いたところ「当日は一人で走りたいと思っている!」と教えてくれました。大勢の人の前で走るのは、とっても勇気がいることだと思います。それでも「やってみたいと思っている」という気持ちを持ってくれていることがとても嬉しかったです。様々な思いを持ちながら、葛藤している年中さんです。当日は、いつも以上にドキドキしたり、いつもとは違う姿の子もいるかもしれませんが、力いっぱい走る子ども達を温かく見守っていただけたらと思います。



看板づくり

運動会に向けての年中さんとしての役割の一つとして、看板づくりがあります。『うんどうかい』の文字や各クラスの応援席につけるクラス名、また『がんばるぞ』の文字などを作り飾りたいと思っています。

今年の看板は、一人一文字色を塗りこむことと、ビー玉をコロコロ転がして土台に絵具で模様をつけてみることに♪文字の塗りこみでは、文字の枠からはみ出さないように丁寧に、じっくりと塗り込みをしました。ビー玉転がしでは、コロコロとビー玉が転がり、模様がついていく様子が楽しくて楽しくて、いつまでも続けていたい!! という子ども達の姿がありました♪絵具の色を変えたり、ビー玉を上下左右に動かしたり、様々な模様ができました! どんな看板になるのか、当日をお楽しみに!! お子さんに、どの文字を作ったのか是非聞いてみてください♪ (あゆみ)

年中スペシャルは…玉入れです!

年中さんの中には、雨の日の遊戯室で(遊びの時間に玉入れが時々出現します!)たくさん投げてきたプロのような子、あまり玉入れの経験がない子もありますが、1学期から年中あつまりでチームに分かれて玉入れを経験してきました。年中さんになった子どもたちは、力いっぱい勢いのままに投げるのではなく、真剣なまなざしでカゴを狙っています。そして繰り返し経験する中で、「あまり近すぎても入らないな…」「こうやって投げたら入った!」と自分なりに研究&発見しています!自分が投げた玉を目で追って、なかなか入らなくて心が折れそうになったり、玉が入って大喜びしたり。仲間と一緒に勝って喜び、負けて悔しがる経験をしてきました。

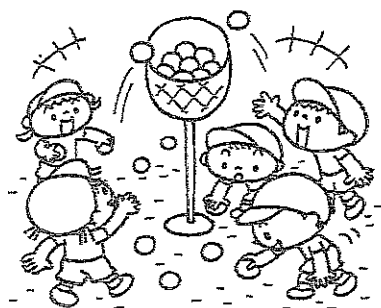
運動会当日は、親子でスペシャル玉入れに挑戦していただきます!スペシャル玉入れは、おうちの方におんぶしてもらって、保育者が背負った動くカゴに向かって玉を投げます。

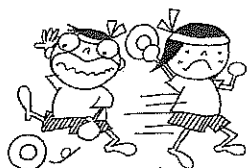
先日の年中あつまりで、カゴが動く玉入れをやってみました。少し難しくりましたが、今までにない動くカゴに目を輝かせて奮闘し、自分が投げた玉が入ったのを見て、飛び上がって喜ぶ姿がありました(^_^)年中さんの感動を、おうちの方もぜひお子さんと一緒に味わってください。

【スペシャル玉入れ ルール】

- ・おうちの方は、赤白それぞれの待機場所(図)に集合してください。まず子どものみで通常の玉入れをしますので、待機場所で座って応援してください。
- ・「スペシャル玉入れをします。おうちの方は移動してください」というアナウンスが流れたら、お子さんの後ろ(図の点線部分)に移動してください。
- ・お子さんをおんぶして行きます。肩車はしないようお願いします。
- ・円の外から、保育者が背負ったカゴに玉を投げます。円の中はカゴを背負った保育者が移動しますので、入らないでください。
- ・円の外は歩いて移動できます。安全のため走ることは禁止です。
- ・子どもたちは、円の中にいる玉渡し係の保護者から玉を1つ受け取って投げます。円の外にある玉は拾ってもOKです。
- ・笛の合図で開始、終了します。

※玉渡し係(円の中で玉を拾って渡す係)をしていただく保護者の方には、当日お声がけします。よろしくお願いします!





年 長 あ つ ま り



☆かわいい年少さん、にじぐみさんのために…

初めて運動会を経験する年少さんやにじぐみさんに、年長さんからプレゼントするメダル。作り始める前に、2年前に自分たちがもらったメダルのことを振り返りました。「うさぎだったよね」と覚えてくれていた子もいれば、今も大切にしていることを教えてくれた子もありました。もらった時の気持ちは「嬉しかったーっ♡♡」と全員一致。受け継がれてきた温かいバトンを、今年は渡す番になりました。年長さんになると「喜んでもらいたい」という思いをもって取り組むことができます。メダルの裏に書かれた年長さんからのメッセージには、「がんばってやったね」「かっこよかったよ」など優しい言葉やステキな絵があふれていました。年長さんたちが心を込めて作ったとっても可愛い動物メダル。是非、楽しみにしててください♪
※年少さんの保護者の方は、『よーいドン』の競技が終わり次第、各クラスの座席まで来ていただき、お子さんからメダルを受け取ってください。よろしくお願いいたします。

☆運動会での係を決めました

この園は保育者が主導して運動会を行っているのではなく、年長児が係を担い運営に携わっています。年長児中心で運動会が行われている様子を見て、毎年多くの方々から、“感動しました”“うちの子も年長さんになったらあんな風に大きくなるのでしょうか？今から楽しみです”と嬉しいお言葉をたくさんいただいています。またそのような年長児の姿を見て、年中少児、にじぐみ子ども達も、“大きくなったら〇〇ちゃん、〇〇くんみたいにあの係をしたい”という憧れの眼差しで見えています。そしてその係の仕事が次の代の年長児に引き継がれています。

昨年の運動会を振り返り、年長さんがどのような係を担っていたか思い出してもらうと、「かけっこの時、最後のところでなんか長い紐みたいなものを持ってた」「アナウンスしていた」「小さい子にプレゼントあげていた」と年長さんが何をしていたか、見ている子が多く嬉しく思いました。しっかり受け継がれていました！今年は年長児の人数が少ない為、2つの係を担う子もいます。第一希望が通った子と、通らなかった子と様々でしたが、決定した時の子ども達の表情から、与えられた係を頑張るぞ！という気持ちが伝わってきました。当日は肩に係の名前が書かれているバッジをつけています。年長児の活躍している姿、成長した姿、頑張っている姿、たくさん応援してください。そしてこの園の良さをみなさんに感じてもらえたら嬉しいです。



☆みんなで心を一つにしてリレーを頑張ります!

毎年たくさんの方が年長児の走りに多くの感動を生むリレーは、今年も運動会の競技最後に行われます。

先日朝の体操後、5クラス揃ってリレーを行いました。2回走る子が1回しか走らなかったり、暑くて走るのが嫌になってしまったり、ドキドキしていつもの力が出せなかったり、様々な姿がありました。最後のクラスのアンカーの子は、他のクラスと1周差になり、どう走るのか心配していたところ、最後まで笑顔で一生懸命走りゴールしました。その姿を見て、他の子ども達も何かを感じてくれたのではないかと思います。順位だけでなく、走ることの楽しさ、嬉しさ。身体を自由に動かすことができる身体を、神さまからいただいていることに感謝をしなければと改めて感じる時でした。リレーという一つの競技から、競い合う楽しさや、悔しさ、団結力、互いを認め合う心、そして健康に過ごしていることへの感謝の気持ち、様々な心が育まれていくことを願いながら、子ども達と過ごしていきたいと思います。運動会当日、クラス関係なく、子ども達に温かい声援を送っていただけたらと思います。

☆今年も白熱?! 年長スペシャルは 騎馬戦 です

暑さも少~しずつ和らぎ、園庭で『どろけい』や『ドッジボール』などを楽しむ姿も増えてきました。年長さんになると、『王様ドッジ』という複雑なルールのある遊びも「面白い!」と感ずることができるようになります。このゲームは、チームの「王様」がボールで当てられたら負け。「王様」を守らなければいけないけれど、あからさまに守りすぎると相手チームに「王様」が誰であるか気づかれてしまいます。作戦を立て、攻撃したり守ったり。時には、ダミーの「王様」がいることも。

あつまりでは、運動会に向けて騎馬戦ルールの『しっぽとり』をして遊びました。大将を1人決めて大将戦にも挑戦!!戦いの後、「どうしたら勝てるのか」とみんなで話し合うと、「守っていない人がいたから(しっぽを)取られた」「守る人と取りに行く人と半分にした方がいい」など、お友だちの姿をよく見て考えているなあと感心するような意見がありました。自分のことだけでなく『チームが勝つためにどうすべきか』ということを考えられる子どもたちの姿は、さすが年長さんです!運動会では、おうちの方の力もお借りして『騎馬戦』という新しい遊びに挑戦します。作戦を立てたり、駆け引きも楽しめるようになってきている年長さんだからこそ、協力して勝負するという経験を、主体的に遊びを深めていく力に繋がってほしいと思います。

年長さんになると身体も大きくなりますが、まだまだ子どもたちはギュッと抱きしめられたら嬉しいし、スキンシップも大切です♡幼稚園最後の運動会。親子で一緒に、身体を動かす気持ち良さを感じてほしいと思います。参加する皆さんも、応援席の皆さんも盛り上がりましょう!!

【騎馬戦ルール】



- 【1回戦…個人戦】 帽子をかぶっている（取られなかった）子が多いチームが勝ちです。
- 【2回戦…大将戦】 相手チームの兜を早く取ったチームが勝ちとなります。

- ・お子さんをおんぶします。肩車は禁止です。
- ・子どもたちは、帽子のゴムを帽子の中に入れます。ゴムを顎には掛けません。
- ・帽子のツバは、後ろ向きにしてかぶります。帽子を押さえて守るのは NG!
- ・競技中は、歩いて移動します。早歩き、走ることは禁止です。
- ・コートの内側を移動してください。周りの白線から出ないように!
- ・帽子を取られたら、自分のチームのスタートラインに戻ってください。

座って応援しましょう。

- ・笛の合図で終了です。

